



碧南ロータリークラブ週報

第2348回例会 平成19年1月31日(水)

● 会長 杉浦健次 ● 幹事 石川春久 ● 会場監督(SAA) 棚田道和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 角谷信二・新美惣英・清澤聡之

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ

LEAD THE WAY

率先しよう

できるひとが
できるときに
できるところで



● 斉 唱

ロータリーソング「手に手つないで」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

碧南市長 永島 卓様



杉浦健次会長

会 長 挨拶

新しき年になり、あっという間に1ヶ月が過ぎました。年末年始の忙しさの疲れが出る頃でありますので、どうぞご自愛の程なさいませ様お祈り申し上げます。

本日の卓話の講師は、私どもが日頃から尊敬と信頼をよせて居ります、わが碧南RC名誉会員であります碧南市長の永島卓様でございます。演題は「文化とは何でしょう」であります。ご多忙の中お越しをいただきましてありがとうございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。さて永島市長様には昨年のクリスマス家族会に、お忙しい中ご臨席を賜りありがとうございました。あいにくの急用との事で「石原詢子歌謡ショー」をご覧いただけませんでした。内緒で写したツーショットにサインをしてもらいましたので、今日のお土産としてお持ち帰り下さい。

さて、過日もご報告いたしました。本年は2月の知事選挙、4月に県議会議員選挙、7月に参議院選挙が行われる予定であります。そして、現在は、愛知県知事選挙の最中でございます。前回平成15年の知事選挙の投票率は碧南市42.67%、愛知県平均は38.91%であったそうあります。投票率向上にむけて、期日前投票制度もでき、聞くところによりますと今回の知事選は、期日前投票をする人が多いとのことであり、喜ばしいことあります。

碧南RC会長は「碧南市明るい選挙推進協議会」の委員を委嘱されています。去る28日(日)16:00より"投票呼びかけ"の街頭啓発をアオキスーパーで1時間行いました。少しでも投票率が向上する事を願うものであります。本日もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

地区クラブ奉仕委員会委員 委 嘱 状 伝 達



鈴木 敏弘君

幹事報告

・他クラブの例会変更等は幹事報告の通り。



石川春久幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 79 名（内出席免除者 13 名）出席者 63 名	
出席対象者 58/66名	出席率 87.88%
欠席者16名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

鈴木 並生君 交通安全国民運動中央大会において功労銀章を受賞致しました。

竹中 義雄君 本日頂戴しました「抜萃のつづり」にわが人生の師とする鍵山秀三郎氏の記事が掲載されていました。大変嬉しく思っています。

石川 春久君 星野ジャパンに期待します。

卓話

「文化とは何でしょう」碧南市長 永島 卓様

本日はロータリークラブよりお招き頂きましてありがとうございます。1月の末になりましたが、本年も何かとお世話になりますが、よろしくお願ひします。毎年1回のお招きでタイトルが「市制あれこれ」が続きましたので、今回は「文化とは何でしょう」というタイトルにしてお話しますが、中身はいつもと変わりません。「文化とは何でしょう」は、最後の方で少しお話します。市の状況といたしまして、今平成19年度予算を作成して大体まとまってきました。昨年の総額全体が540億でありました。本年は577億と少し伸びました。その要因として、昨年私が議会で表明致しました医療費の関係で子供の医療費を全額無料にするということを打ち出しまして、これについては各市も習ってくる傾向にあると思われまます。この件のウエイトが大きいと言えます。それから子育て支援、高齢者対策、国民健康保険、あらゆる点で需要が伸びきています。収入におきましては、順調に伸びてきてます。約580億の内、一般会計が298億、内陸部と臨海部で約200億、簡単にご説明致しますとこういった内訳になります。昔と今の碧南市のまちが変わってきていると考えられます。「名浜道路」の早期整備につきましても調査区間の指定を受けられる見通しの所まできています。



今年が目玉と致しましては、4月5日が市制記念日で59周年を迎えます。その時に昨年愛知万博で交流をはかっておりました東欧クロアチアのプーラ市との姉妹提携をする予定になっています。プーラ市より用人の方がみえて調印をします。その1ヶ月後の5月5日にプーラ市の設立記念日にお招きを頂き、私と国際親善協会の役員の方と親善をはかってきます。県下で愛知万博以降初の姉妹提携となります。

大浜地区では、「歩いてくらするまちづくり」を実施しています。今年度が最終年度になり、美術館の建設、陣屋跡の整備、旧大浜警察署の整備、大浜漁業組合の煉瓦造りの整備、跡地の整備、道路の拡幅などすべてが完了する形ではありませんが、引き続き進めていきます。臨海と内陸部との有効なアクセスをつくり上げることも課題としてあります。あわせて、臨海公園の原案も粗まとまっています。主なものとして、芝生広場を中心に「水にかこまれたまち碧南」をテーマに碧南で初の24時間楽しめる噴水を計画し、皆さんに散策を楽しんで頂けるような整備をはかってまいります。都市計画税の減額、福祉、教育、防災など、また防災につきましても、

この4年間で最重点課題として約25億を投入し、災害時に備え、特に主要な橋には、耐震補強をしっかり整えてきました。海に面した市としては、来年衣浦港開港50周年を向かえ記念事業も考えています。「身近な水辺」を意識したまちづくりをめざしたいです。

公共下水道の推進も毎年30ヘクタールずつ進めています。おかげで町の中の河川の水質が改善されてきています。又水路においても飛躍的に同じことが言えます。魚が泳ぐまでになってきました。

本題の「文化とは何でしょう」についてですが、碧南市は大変文化、スポーツが盛んであります。それだけの施設もありますが、なかなか行政と同じように縦割りになっています。参考までに申しあげますと、文化、スポーツのグループに入っている人は10,300人、団体数は390有ります。今碧南市の人口が73,000人ほどで、7人に1人はその団体に入ってみえる訳です。特にスポーツの関係につきましては利用率が高いです。これは健康につながることもあるでしょう。スポーツは大変関心が高いところです。今新聞、テレビで見ると、いろいろな事件が多過ぎます。報道されるほとんどが凶悪事件です。なぜこんなことが起こるのかを考えると、毎日の中で人間として生活していく余裕がなかなか確保できません。私自身も休みなしのスケジュールが入っています。ただそういった世の中の厳しい状況がリズムを狂わせているのではないかと感じてしまいます。先日もあるスポーツ団体の会に出席させて頂いた時の話ですが、自分の興味、趣味に関しては素晴らしい知識を持たれているのにそれと反対のことは、全く知られてないことが多かったように感じました。自分の視野の範囲をどこまで拡大できるかどうかということが地域の文化を育て、又発展をする大きな支えとなるのではないかという気がしてなりません。余裕を持つことでなく、自分の守備範囲を越えた形の中で冒険をして頂けるとありがたいと思います。昨年「国家の品格」という本を読みました。興味のある方は、是非読んで頂きたいと思います。駄弁を申し上げました。有り難うございます。

次回例会案内 平成19年2月14日(水)

卓話「私の履歴書」

会員 角谷 修君・黒田泰弘君